

多治見市民病院改革プランに対する評価シート（平成 24 年度末現在）

メニュー	進捗状況	市評価	評価委員会 評価
一般会計経費負担 建設改良費の 1/2 政策的医療 1 億 5 千万円 【改革プラン P5】	24 年度も 23 年度に引き続き、建設改良費の 1/2、政策的医療 交付金 1 億 5 千万円を厳守。 一般会計からの繰入額（一般財源）は 2 2 3 百万円	A	A
財務に係る数値目標 【改革プラン P6】	利用料金制による指定管理移行のため、評価できない。 （経営上の財務状況は指定管理者の責任範囲となる）	——	——
医療機能に係る数値目標 【改革プラン P6】	時間外患者数 目標 9,800 人に対し実績 9,251 人（23 年度は 6,429 人） 健診者数 目標 3,700 人に対し実績 6,207 人（23 年度は 3,511 人）	A	A
経営効率化のとりくみ 【改革プラン P6】	利用料金制による指定管理移行のため、評価できない。 （経営効率化は指定管理者の責任範囲となる）	——	——
再編・ネットワーク 地域医療における役割分担・ ネットワークについて検討 【改革プラン P7】	市民病院は、2 次救急及び休日・夜間の 1 次救急の一部を担う と位置付け、指定管理者との協定書で具体化 休日診療、夜間在宅当番の確実な実施。救急受け入れも、体制 を強化中であり、搬送件数も増加傾向にあり。	A	A
経営形態の見直し 目標は 22 年度から指定管理 移行 【改革プラン P7】	22 年度から指定管理者制度へ移行	A	A